

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生学 I	1 年次	必修	講義	1 単位（30時間）	大西 秀典 ※
授 業 概 要					
<ul style="list-style-type: none"> 地球環境、健康の保持、予防医学の重要性を認識し、公衆衛生分野の検査などについて学習する。 					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> 衛生学・公衆衛生学の変貌と地球環境・人口の変貌を理解し、公害問題から自然・生活環境問題へと変化している中で、「健康とは何か、いかに対処すべきか」を解決する知識を理解し、説明できる。 時代の流れを汲み取って、その時の社会の問題点を正しく理解し、説明できる。 					
回	学 習 内 容				担当教員
1	衛生公衆衛生学序論；生活と健康				大西 秀典 ※
2	健康問題の変貌、保健医療福祉の倫理				
3	保健統計(1) 世界と日本の人口の歴史				
4	保険統計(2) 人口静態統計、総人口				
5	保健統計(3) 人口動態統計Ⅰ：死亡統計、平均余命、平均寿命				
6	保健統計(4) 人口動態統計Ⅱ：出生・死亡・死産				
7	疾病予防と健康管理(1) 予防医学、健康管理				
8	疾病予防と健康管理(2) 健康増進、健康日本 21				
9	疾病予防と健康管理(3) よいライフスタイル（栄養・運動・休養）				
10	主な疾病予防(1) 疾病の予防；感染症法				
11	主な疾病予防(2) おもな感染症、学校感染症、検疫感染症				
12	主な疾病予防(3) 予防接種法・ワクチン				
13	主な疾病予防(4) 最近の感染症の動向				
14	主な疾病予防(5) 生活習慣病（三大死因他）				
15	主な疾病予防(6) がんの予防				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生学は幅広い領域に亘っての学習のため、学んだことを関連付け、しっかりと復習して理解すること。 不明な点は必ずその場で解決すること。 					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> 講義開始時又は終了時に小テストを実施する。 遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。 定期試験（70%）及び小テスト(30%)により評価する。 再試験では小テストの再評価はしない。 					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
シンプル衛生公衆衛生学 2019 版 鈴木 庄亮 他 南江堂					
〔参考書〕					
公衆衛生学マニュアル 2019 年版 柳川 洋 他 南山堂					
公衆衛生がみえる 2018-2019 今村 知明 他 MEDIC MEDIA					